

第10号様式（京都府地球温暖化対策条例施行規則第27条関係）

第4号様式（京都府再生可能エネルギーの導入等の促進に関する条例施行規則第3条関係）

特定建築物工事完了届出書

(宛先) 京都府知事	令和4年 12月 1日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府久世郡久御山町下津屋 46	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 株式会社 阪村機械製作所 代表取締役 小林 純

第10号様式（京都府地球温暖化対策条例施行規則第27条関係）

工 事 の 種 別	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築
工 事 完 了 年 月 日	令和4年 11月 16日
特定建築物排出量削減計画書兼 特定建築物再生可能エネルギー導入計画書 提出年月日	令和4年 1月 17日
特定建築物の概要	名 称 (仮称) 株式会社 阪村機械製作所 京都工場 新事務所棟新築工事
	所 在 地 京都府久世郡久御山町下津屋富ノ城 27番1、27番2、28番1、28番2
	床 面 積 の 合 計 (増築部分の床面積) 2342.50 平方メートル (平方メートル)
府内産木材等の使用	府内産木材等の種類と使用量 ①第11条の2第1号ア該当木材等 0.38 立方メートル ②第11条の2第1号イ該当木材等 立方メートル ③第11条の2第2号該当木材等 立方メートル ④第11条の2第3号該当木材等 立方メートル 府内産木材等の使用量の合計量 0.38 立方メートル (①+②+③+④)
	使用する用途 天井の羽目板で使用
	府内産木材等の使用基準量 0.32 立方メートル
	当該建築物における木材の使用量の合計量 0.38 立方メートル
	木材が使用可能な居室の合計面積 171.60 立方メートル
温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施した措置	概 要
<input checked="" type="checkbox"/> 外壁、屋根又は床の断熱	外壁、外床：吹付硬質ウレタンフォーム t15mm 屋根：押出法ポリスチレンフォーム t25mm
<input type="checkbox"/> 窓の断熱又は日射の遮蔽	
<input checked="" type="checkbox"/> エネルギー消費効率の高い設備の導入	LED照明器具
<input type="checkbox"/> 環境への負荷が少ない材料の利用	
<input checked="" type="checkbox"/> 節水型設備の設置	大便器、小便器、水栓に節水型器具を採用
<input type="checkbox"/> 雨水、雑排水等の利用	
<input checked="" type="checkbox"/> 耐用年数が高い材料及び設備の利用	主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用。
<input checked="" type="checkbox"/> 建築物の維持管理の容易性に対する配慮	屋外階段：鉄骨造、溶融亜鉛メッキ
<input checked="" type="checkbox"/> 緑化の実施	外構に緑化を施している
<input checked="" type="checkbox"/> 電気自動車等の充電設備の導入	駐車場に電気自動車及びプラグインハイブリッド自動車の充電設備の設置
<input type="checkbox"/> ノンフロン製品又は地球温暖化係数の小さい冷媒を使用した製品の利用	
<input type="checkbox"/> 宅配ボックス等、再配達削減に資する設備の設置	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	主要な外壁仕上材に溶融亜鉛メッキ鋼板を採用し耐用年数を上げている

- 注 1 該当する□には、レ印を記入してください。
- 2 「府内産木材等の使用基準量」欄には、第22条第3項の規定により算出した数値を記入してください。
- 3 この届出書には、次の書類を添付してください。
- (1) 使用した府内産木材等の種類・量が確認できる証明書等の写し
 - (2) 府内産木材等の使用基準量の算出の根拠となる資料（府内産木材等使用基準量算出シート）
 - (3) 温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施した措置の内容が分かる資料又は図面

第4号様式（京都府再生可能エネルギーの導入等の促進に関する条例施行規則第3条関係）

	再生可能エネルギーを利用するための設備の種類	年間で利用可能な再生可能エネルギーの量
再エネ設備の 導 入	①太陽光	572,030 メガジュール
	②風力	メガジュール
	③水力	メガジュール
	④地熱	メガジュール
	⑤太陽熱	メガジュール
	⑥バイオマス	メガジュール
	⑦その他（ ）	メガジュール
	再生可能エネルギーの利用量の合計量 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦)	572,030 メガジュール
	導入すべき再エネ設備の基準値	30,000 メガジュール
	効率的利用 設備の導入	再生可能エネルギーを効率的又は 自立的に利用するための設備の種類
<input type="checkbox"/> 蓄電池		
<input type="checkbox"/> エネルギーマネジメントシステム		
<input type="checkbox"/> その他		

- 注 1 該当する□には、レ印を記入してください。
- 2 「導入すべき再エネ設備の基準値」欄には、京都府再生可能エネルギーの導入等の促進に関する条例施行規則第3条第2項の規定により算出した数値を記入してください。
- 3 この届出書には、次に掲げる事項が分かる書類を添付してください。
- (1) 導入すべき再エネ設備の基準値の算出根拠
 - (2) 再生可能エネルギーを効率的又は自立的に利用するために導入した設備の内容及びその設置場所
 - (3) 再生可能エネルギーを利用するために導入した設備((1)の設備を除く。)の内容及びその設置場所